

今月の御教え

おごりがましいことをすな。ものは、細うても長う続かねば繁盛でないぞ。細い道でも、しだいに踏み広げて通るのは繁盛じゃ。道に草を生やすようなことをすな。

……金光教祖御理解 第八十四節……

解説

この御教えを始め数々の御教えを伺うに、改めて、金光教祖・金光大神様という方は、なんと堅実な、自制心のお強い方かと驚かされます。どうして「そういった生き方を貫き通すことが出来られたのであろうか」と不思議にさえ思われます。しかし、その生きられ方は『天地の道理』に沿った生きられ方であることは間違いないことであります。それが明らかなのは、教祖金光大神様が『日柄方位』の迷妄を打破したことに尽きます。

当時、陰陽道による『日柄方位の吉凶』は、上は朝廷、幕府から、下は名もなき一般庶民に至るまで固く信じられ、根柢のある学説とされていましたが、それを「何の根柢もない人間の作り事！」と断じた教祖・金光大神様の合理的な思考は正に『天地の道理』を体現したものであったのです。さすれば、この御教えに示された如く、『驕らず、怠らず、日々、質実に堅実に、己が勤めに勤しむ』ことは人間として『天地の道理』に適った最良の生き方であろうかと思われれます。

さしもの猛暑の日々も、九月を迎え、秋の気配を感じられるようになりました。これからは徐々に涼しくなってくるでしょうが、これも天地の道理であります。

西条教会設立百年の御年柄の今年、私達は共々に教祖金光大神様の御思いに添うべく信心の稽古に勤しみますよう。